

# 「国家財政の見える化」について堺市議と共同勉強会を実施

2020年2月12日(水) 10:00～ 生団連事務所(ゼンショー本社会議室にて)

生団連で副会長を務めていただいている堺市消費生活協議会・山口 典子会長は、堺市議会議員でもいらっしゃいます。山口会長から「生団連の国家財政の見える化に関する活動について堺市議団としてぜひ学びたい」とお申し出があり、総勢7名の堺市議の方々が生団連事務局にお越しくださいました。



## 【勉強会内容】

- 1 生団連とは** …… 生団連の成り立ち、重点課題について説明
- 2 財政に関する取り組み経緯** …… 「国家財政の見える化」の取り組みに至る経緯を紹介
- 3 今後の取り組みの方向性** …… 予算編成プロセスに課題があり、「3ヶ年の複数年度予算」実現に向けて取り組むことを説明
- 4 地方財政について** …… 生団連としても地域独自の課題に対して行動する「地域生団連」構想を埼玉で始めていること、「受益と負担」の関係を明確化することが市民(国民)との信頼関係構築に繋がることを説明
- 5 堺市の取り組み** …… 国よりもはるかに進んでいる堺市の財政の見える化について意見交換

## 【意見交換内容抜粋】

- 毎年市長のやりたいことが示されるが、それらが本当にできるのか、財源があるのか、効果が見込めるのか、踏み込んで考えなければならない。
- 我々政治家も市民から信頼されるようにしなければならない。メディアもきちんと情報発信しなければならない。
- 堺市では市長が変わったことで今後の取り組み内容が変わってきている。市議の私たちが堺市の財政について市民にわかるように伝えていかなければならない。



## 【事務局より】

堺市では入庁1,2年目の財政局職員が中心となって、「財政の見える化を進めるプロジェクトチーム」を結成し、子育て世代の観点から市財政の健全性をわかりやすく示す資料を公表しています。予算編成過程の公開など、財政の見える化に対する積極的な取り組みで知られており、市の施策を身近に感じてもらうことができると評価されていることがわかりました。財政の見える化は国家よりも地方の方が進んでいますが、大切なことは行政が「見える化」を進め、その情報を市民が関心を持って受け取ることが、互いの強固な信頼関係の構築に繋がるということです。国家財政についても国民に対してきちんと説明が行われるよう生団連は今後も取り組みを進めてまいります。

## 【堺市消費生活協議会・山口会長より】

貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。市議である私たちも国家財政の課題や解決策についてより深く考え、行動していかなければなりません。生団連の「国家財政の見える化」に関する取り組みは委員会をはじめとした生団連内部で深めていくことはもちろんですが、より開かれた議論ができるような取り組み・工夫を期待しています。

